

「水郡線奥久慈アートフィールド」を実施します！

大子町では、JR東日本水戸支社およびNPO法人まちの研究室と連携し、水郡線の利用促進と町の活性化を目的に、水郡線奥久慈エリアを舞台として大子町に滞在しながら創作活動を行うアートプロジェクト「水郡線奥久慈アートフィールド」を実施します。この事業は水郡線の駅舎や駅前、町中におけるアートプランを公募し3つのプランを選定するもので、選定されたプランの成果は2023年の大型観光キャンペーンを見据えた「茨城プレデスティネーションキャンペーン」期間である2022年10月～12月に発表される予定です。

概要

【募集期間】2022年4月8日（金）～5月20日（金）

【審査発表】2022年6月上旬（特設サイトにて発表）

【発表期間】2022年10月～12月（予定）

【主 催】大子町

【協 力】JR東日本水戸支社

【運 営】NPO法人 まちの研究室

ロゴイメージ



奥久慈アートフィールド

【審査対象】・大子町での滞在中に新しい視点や可能性を開拓できる方
・水郡線の利活用、新たな楽しみ方に関する発想

【応募資格】・大子町に滞在しながら創作活動を行うことが可能な方（滞在期間6月～10月予定）
・大子町滞在中にアイデアを実現可能な形へと柔軟に変えていける方
・2022年10月～12月の期間内に水郡線の駅舎や駅前、町中などで創作物や活動の発表ができる方
・本プロジェクトに関するインタビュー、PR活動などにご協力いただける方

【支援内容】・活動費30万円および、最寄り駅から常陸大子駅までの往復運賃2回分の交通費
・滞在中の宿泊、制作場所提供（大子アーティスト・イン・レジデンス）
・制作支援金：プラン内容をもとに相談の上、主催側が負担（上限あり）

【応募方法】特設ホームページ内からご応募ください。（<https://okukujiartfield.com/>）

応募内容	備考
A. エントリーページ	必要事項の記載
B. 応募理由	最大400字
C. アイデアや提案などの資料	仮スケジュール、イメージ画像、スケッチなど
D. 創作活動の経歴書	写真、ポートフォリオや映像など形式問わず

※応募資料の返却はできませんのでご了承ください。

※以下、審査対象外となる条件がありますのであらかじめご了承ください。

- ・駅を利用されるお客さまの安全性や利便性を著しく支障するおそれのあるアートプラン
- ・鉄道運行上の安全・安定輸送に支障を及ぼすおそれのあるアートプラン
- ・公序良俗に反し、または反するおそれのあるもの

水郡線奥久慈アートフィールドについて

茨城と福島県の県境にそびえる八溝山を源とする久慈川上流域の奥久慈エリア、茨城県北部に位置する大子町、そこにつながる茨城県の水戸と福島県の郡山を結ぶ、JR水郡線から広がる壮大なフィールドにさらなる眼差しを向けたアートプロジェクトです。

大子町は久慈川が流れ雄大な自然が広がる奥久慈エリアにあります。日本三名瀑「袋田の滝」や、良質な温泉が湧き出る八溝山系の温泉郷があり、お茶やりんごなどの食材をはじめ、良質な漆や楮などさまざまな素材が生まれる場所です。そして、大子町へアクセスするJR水郡線は久慈川に沿って走る車窓風景が美しく「奥久慈清流ライン」という愛称でも親しまれています。日々の人々の暮らしを結び、観光やアウトドアの移動手段としても利用される趣のある線路として愛されています。



【久慈川】



【りんご園と水郡線】



【袋田の滝】



【わらぼっち】



水郡線に揺られ、大子町に滞在し、壮大なフィールドでのリサーチや、町の人々との交流の中で、創作活動に新たな展開を切り拓いてください。そして今年の秋から冬にかけ奥久慈、大子町での開催を予定しているイベントの中で発表していただきます。

昨年度は駅舎を舞台に以下の3駅で実施しました

常陸大子駅

照山麻衣／大子町ジオリボン

大子町の自然から着想を得ながら、町を介して人々がつながる様を、リボンをモチーフにして制作されました。



袋田駅

湯ノ迫史／袋田プラットフォーム

被災からの復興の「舞台」として、戻ってきた水郡線を眺めながら、日々更新されていく日常の風景となることを期待して制作されました。



上小川駅

橋本次郎／奥久慈ハーモニー

大子町の自然や暮らしを象徴する多様な音を町内各地でレコーディングし、その魅力を音で伝える27分30秒の音響作品が制作されました。

